

韓国薬学研修報告書

三宅 智美

4年 13A136

2016年8月17日～20日の研修で東国大学・病院・薬局・韓方市場などの見学東国大学薬学部の方々との交流をしました。

韓国の薬学カリキュラムは2010年より2+4年制度となっており、最初の2年は別の大学で勉強する。その後薬学部に入り、専門的なことを学ぶそうです。

東国大学薬学部は2011年に設立され歴史は長くないですが、自習室が多くあったり、休むスペースがあったりと勉強しやすい環境だと思いました。

見学をした大学病院では、韓方と西洋医学をうまく融合させて診察・治療を行っていました。日本で漢方を扱うには個人的に勉強するだけでよいが、韓国で韓方を扱うには医師も薬剤師も特別なライセンスが必要であり、そのための大学に行き学ぶそうです。病院の薬剤部にも韓方を作る専用の部屋がありました。



韓国では、薬局のチェーンはあまりなく、個人店が多いそうです。

見学した薬局では、調剤をメインとしているが OTC 医薬品や健康維持のためのものの販売も行っていました。韓国では薬剤師一人あたり処方箋 75 枚までというきまりがありました。また、処方されると審査評価委員という国の機関に情報が集まり、二重処方を防ぐというシステムがありました。日本のお薬手帳では持っていない人や持参するのを忘れる人があるので、良いシステムだと思いました。



韓方市場ではさまざまな生薬が大量においてありました。普通の野菜と一緒に売っているお店もあったり、一般の料理にも入っていたり身近なものなのだと感じました。

普通には見ることができない病院・薬局などを見ることができ、とても勉強になりました。また、韓国の薬学部の学生と交流できたことはかけがえのない経験となりました。

